



**Pick Up News**  
講義も終盤を迎え、続いて定期試験、4年生や大学院修士2年生は学生生活最後の追い込み、そして成果をまとめる一年総決算の時期となりました。慌ただしく駆け抜けて終わってしまう1ヵ月ですが、ぜひ立ち止まって、振り返る時間をそれぞれで作って欲しいと思います。皆さんにとってどのような1年間だったでしょうか？ 大学生活に慣れたと思ったら1年が終わる1年生。迫り来る課題、レポートをひたすらこなしていたら終わる2年生。研究室配属もあり、これまでの大学生活とは違う楽しみや刺激を覚えた3年生。進路決定、卒業研修の取り組みと発表もあり、人生の中でも最も充実し、これからの人生にとって大きな意味を持つ1年間を過ごした4年生。それぞれの中に刻まれたこと、蓄えられたことを自身で確認してみてください。



【ミス・ユニバース・ジャパン宮城大会4位入賞】 建築学科3年生の湯村真梨奈さんが見事4位入賞。県内の応募者の中から書類選考によって選出された10人のファイナリストで競われた最終決戦で大健闘。おめでとうございます。

【課外活動優秀者学長表彰受賞！】 課外活動での活躍で7名が受賞。陸上部で活躍した兼子太希くん(1年、個人)、弓道部で活躍した武田雄大くん(2年、個人)、設計コンペ等の自主的な活動とその成果で表彰された石岡郷梨さん(4年、個人)、佐藤徹哉くん(4年、個人)、齋藤秀くん(4年、個人)、吹奏楽部で表彰された昆雄輔くん(3年、団体)、バレーボール部で表彰された小澤佳樹くん(2年、団体)です。おめでとうございます。(今野学長、小泉後援会長などを交えての記念撮影)



**学部:卒業論文・卒業設計、大学院:修士論文・修士設計の発表会開催！** 卒業論文・設計発表会は2月8日～9日、修士論文・設計発表会が2月20日に開催。限られた時間の中、全員が口頭での発表を行いました。学部4年間、大学院2年間の集大成となる発表会。ここまでに至るプロセスも含めて、一人ひとりには大きな力となったことと思います。



3/5-6 合同企業説明会    3/9 卒業者発表    3/20学位授与式    3/26 進級者発表

**Pick Up Lab.** 都市環境工学・渡辺研究室は、建築を考える基礎である地域・都市に対して環境工学的アプローチで理解を深める研究に取り組んでいます。地球規模の気候変動も背景に都市暑熱化そして自然災害リスクが高まっています。これからの建築・都市は、快適性・知的生産性の向上と省エネを両立させるとともに、都市暑熱化や自然災害に対して安全でレジリエントであることがますます求められます。そしてこれらの課題は、建築の立地する地域により解が異なり、研究課題として奥深いところです。2018年度も、大学院生となる謝君と木村さんそして現3年生10人とともに、楽しくハイレベルな研究を目指していきます。

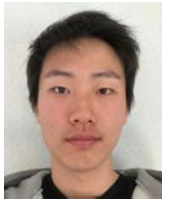


焼肉忘年会で談笑する4年生と3年生    卒論追い込みで机に向かう4年生たち



4年 杉山 遙さん  
泉高校 宮城 出身

**Pick Up Student** 大学生活では多くのことを経験することができました。そして、最後の活動として卒業論文のための調査研究と論文の執筆を行いました。公営住宅の住民の方に自ら交渉をしてヒアリングを行い、時間をかけて結果を分析し、考察しました。その結果、公営住宅で行った成果の報告会では、住民の方に「とても良かったよ！わかりやすかった！」等の声を頂くことができました。大学生活において、勉強やアルバイト、研究室等の全てをこなせたのは、多くの方の支えがあったからだと思います。3月で卒業です。これから新たな生活が始まりますが、就職先でも多くを学び、周りの方への感謝を忘れず、彩り豊かな生活を送れるようにしたいです。



2年 高橋 響くん  
仙台工業高校 出身

**Pick Up Student** 私は工業高校から設計やデザインのことをより学びたいという考えで、この大学に進学してきました。建築を学ぶ講義の代表として設計課題があります。課題に対して毎週、担当の先生とどのような建物にしていくのかを、相談しながら進めていきます。さまざまな条件の下で自分のアイデアを締め切りまで練り続け、図面化し模型を作りプレゼンする過程は、大変ですがかなり面白いです。講義はもちろん設計だけではなく、建築を成り立たせる構造や材料、快適な空間のための設備や環境などが必修になっています。どの科目も相互に関連しており、全てが建築に不可欠であることを実感させられます。とりあえず残り2年楽しく過ごしていきたいです。